

平成 29 年 (2017 年) 2 月 26 日

母校(江津工業高校)を取巻いている社会環境と**江工会の活動状況**

平成 26 年 (2014 年)

2 月 14 日:江工会会報 48 号巻頭文「創立 80 周年について」

2 月 19 日:関東支部総会当日、土井会長、風早関西支部長、横田江津支部事務局長、大賀美名誉会長へ、関東支部3役から「江津工業高校の魅力化委員会」の立上げを提案

5 月 16 日:本部理事会・総会

* 80 周年記念式典等について

* 奨学金制度の廃止について

* 関東支部から提案 ①「魅力ある江津工業高校にする為に」

②「江工会の活性化」以上 2 件提案

10 月 10 日:創立 80 周年記念式典

* 基調講演:江工会関東支部西村支部長「わが挑戦への記録」

90 周年,100 周年記念式典が出来るように、で講演を纏めた。

* マイクロバスを寄贈(A33 卒東京都在住、大木一司様)

* 0B による在校生へ体験談の講義

平成 27 年 (2015 年)

01 月:江津市県立高校の在り方検討委員会発足(松田会長以下 15 名)

2 月 19 日:江工会会報 49 号巻頭文「母校存続と地方創生」

2 月:22 日:関東支部総会・懇親会(約 71 名出席)

3 月 27 日:検討委員会検討結果報告書を江津市長へ提出

(パブリックコメント募集、教育コーディネーター採用等の提案)

5 月 9 日:本部理事会・総会

* 80 周年記念式典等の報告

* 関東支部から提案等 ①江津工業高校の将来について

②江工会本部の強化について ③理事・評議員の人選について

④江津市内3支部の強化について

5 月 29 日:パブリックコメント締切り

(応募 20 通の内、江津工業高校関係者 13 通) * 添付資料参照

6 月 05 日:江津市から県教育委員会へ「検討結果報告書」、「パブリックコメント」

を提出

①

6月23日：***江工会本部へ 臨時本部理事会・総会開催(8月)の嘆願書提出**
(6支部連名)

8月14日：**情報・意見交換会の開催(臨時本部理事会・総会の代替え)**

出席者：本部7名、江津市内7名、県内10名、
県外10名(関東5名、他5名) 計34名

***学校長より現状説明、**

***5支部連名で本部へ ①魅力化委員会の早期立上げ**

②江工会会則の見直し ③組織の活性化等を提案

9月4日：県教育委員会から2016年(平成28年度)入学定員等の発表
学科再編成・定員削減(3クラスから2クラス。120名から80名へ)

10月02日：**勝田が帰省、学校関係者と打合せ ①魅力化推進委員会(組織表(案))**

②「産・官・学」合同委員会の立上げ等について

11月01日：**「しまね教育フェア in 東京」へ江津工業高校が出展(関東支部6名参加)**

11月28日：島根県建築士会江津支部第1回建築サロン開催

「工業高校学科再編と建築科の在り方について」

パネルディスカッション：パネラー5名(3名が江津工高関係者)

平成28年(2016年)

1月：**「魅力化推進委員会の早期立上げ」の再確認書を会長宛提出(5支部連名)**

2月20日：**江工会会報50号巻頭文「新たな出発」**

2月21日：**江工会関東支部総会・懇親会(約90名出席、大賀美校長、高月事務局)**

***母校が置かれている立場について(現状と今後の予想等)**

***母校存続に対する提案事項について本部の活動状況確認**

4月09日：学科再編成・定員削減後の入学生(3科から2科、120名から80名)

***4月22日：島根県教育委員会が「今後の県立高校の在り方検討打委員会」立上げ**

(検討事項①江津市・浜田市の要望を踏まえた江津・浜田エリアの県立
高校の可能性 ②平成31年度以降の次期計画に向けた県立高校のあり方

会長：島根大学大学院肥後教授、委員：12名、

会議を12回予定、2107年6月まで：12月まで延長、会議数16回)

添付資料参照

***委員会議事録：島根県のHP、県立学校再編成について**

「今後の県立高校の在り方検討委員会」で見られます。 ②

5月21日:本部理事会・総会

関東支部から確認・提案事項

*江津市内の県立高校の今後について

*昨年の意見・情報交換会で提案した「魅力化推進委員会の早期立上げ」を確認した。会長から「学校教育支援委員会のメンバーを増員」し、対処するとの回答。組織・活動予定等の情報公開を依頼した。—その後何も無し。

*会則の改定案(事前、提出済み):議題で審議すると思っていたが

..会長から「見ていない」との発言。..来年の議題で再度提出する。

*本部事務局の強化(地元在住会員による)

9月13日:今後の県立高校の在り方検討委員会「地域公聴会」の開催

浜田市(3校、傍聴者約30名)及び江津市(2校、傍聴者約40名)。

浜田市長、江津市長から「要望書の提出・説明」 *添付資料参照

意見陳述者各4名(産業界・PTA・商工会議所・女性等、

その内、各1名が江工学生会員)

*浜田市より中高一貫校の提案——検討事項に組込まれた。

(8月、浜田市主催で中高一貫教育導入についてシンポジウム開催)

*江工学生会員の出席者(浜田会場:5名位、江津会場:10名位)

*勝田が帰省して両会場へ出席・傍聴(両市の温度差を感じた)

*添付資料参照(新聞記事)

11月23日:しまねフェア東京に江津工業高校が出展

井上校長、他出席・説明等(関東支部会員5名参加)

12月15日:今後の県立高校の在り方検討委員会の検討期間延長

平成29年12月まで。委員会回数+4回、合計16回。添付資料参照

平成29年(2017年)

2月: 県教育委員会が平成29年度から3年間、高校魅力化・活性化事業の対象校に指定した。(入学時の県外生枠(4名)の撤廃)

*新規対象校:安来高、情報科学高、大東高、三刀屋高、邇摩高、
江津高、江津工高、浜田水高、浜田商、益田翔陽高
計11高校

*既対象校:横田高、飯南高、島根中央高、矢上高、津和野高、
吉賀高 計6高校

合計11高校

③E

文責 勝田友治(E38卒)